

平成 23 年度に感染症発生動向調査から 検出されたウイルス

齋藤美香 塚越博之 小林美保 石岡大成

Viral Agents Surveillance Report in Gunma Prefecture from April, 2011 to March, 2012.

Mika SAITOH, Hiroyuki TSUKAGOSHI, Miho KOBAYASHI, Taisei ISHIOKA

1.はじめに

感染症発生動向調査事業に係わる病原体検査は、感染症法において病原体の動向を短期的及び中長期的に把握することを主眼としている。当事業は、速く変化する病原体情報を正確に把握・解析し、医療機関等関係機関への情報還元が主体となっている。以下、本稿では平成 23 年度（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）に病原体検査定点を受診した患者の検体から分離・検出されたウイルスについて概要を報告する。

2.材料及び方法

定点に指定されている医療機関に受診したウイルス性疾患（疑いを含む）患者から得られた咽頭ぬぐい液、結膜ぬぐい液、糞便、髄液等を材料とした。ウイルス分離・同定及び PCR 法を主体とした遺伝子検査は定法に従った¹⁾。

3.結果

初診時臨床診断別月別検査件数を表 1、臨床診断月別ウイルス検出数を表 2、臨床診断別ウイルス検出数を表 3 に示した。今年度の検査件数は 259 件、検出数は 168 件、検出率は 64.9%であった。以下、表 1 の上位 3 疾患について概要をまとめた。

3.1. インフルエンザ

インフルエンザの検査件数は 66 件、検出数は 51 件、検出率は 77.3%であった。内訳は、AH3 亜型が 28 件、B 型が 18 件であり、AH3 亜型が最も多く検出された。AH3 亜型は平成 23 年 5 月に 1 件検出され、これは、2010/11 シーズンからの流行と考えられる。その後は 10 月から検出されはじめ、検出数は平成 24 年 1 月がピークとなり、3 月まで検出された。B 型は平成 23 年 4 月に 4 件検出され、AH3 亜型と同様に 2010/11 シーズンからの流行と考えられる。その後、平成 24 年 1 月から 3 月まで検出され、検出数は 2 月がピークとなった。また、AH1pdm2009 は検出されなかった。全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告²⁾について各月の検出報告数は、AH3 亜型が平成 23 年 10 月頃から増加し、平成 24 年 1 月に最大であった。また、B 型は平成 23 年 5 月頃まで報告があり、その後、減少した。さらに、平成 24 年 1 月頃から報告数が増加し、3 月に最大となった。しかし、AH1pdm2009 は年度を通して報告数が極めて少ない状況であった。以上から、本県のインフルエンザの検出状況と比較した結果、全国と同様に AH3 亜型を主とした B 型との 2 種混合であったと考えられる。その他、ヒトアデノウイルス 3 型、ヒトメタニューモウイルス、RS ウイルス 1 型が検出された。

3.2. 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の検査件数は 39 件、検出数は 22 株、検出率は 56.4%となり、昨年度よりも少なかった。多く検出されたのは A 群ロタウイルスが 9 件、次いでノロウイルス GII 型が 8 件であった。ノロウイルスは冬季を中心に、A 群ロタウイルスは冬季から春季にかけて検出された。さらには、サポウイルスが 2 件、ヒトアデノウイルス 41 型が 2 件、ヒトアデノウイルス 5 型が 1 件であった。全国の感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況（感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報を含む）²⁾によると、秋季から春季にかけてはノロウイルス GII 型が主流となっており、その他ではノロウイルス GI 型およびサポウイルスが検出されている。さらに、冬季から春季にかけて A 群ロタウイルス等が報告されている。このことから、本県のウイルス検出は、全国と同様であることが示唆された。

3.3. 無菌性髄膜炎

無菌性髄膜炎の検査件数は 33 件、検出数は 9 株、検出率は 27.3%となり、昨年度よりも検査件数が多かった。多く検出されたのはエコーウイルス 6 型が 6 件であった。その他、ヒトアデノウイルス 2 型、コクサッキーウイルス B 群 5 型、ムンプスウイルスが各 1 件検出された。全国の無菌性髄膜炎患者から分離・検出されたウイルスの報告²⁾によると、平成 23 年は主にエコーウイルス 6 型が報告されている。その他ではコクサッキーウイルス B 群 1 型、ムンプスウイルス、エコーウイルス 9 型、コクサッキーウイルス B 群 5 型などが報告されている。このことから、本県のウイルス検出は、ヒトアデノウイルス 2 型を除いて、全国と同様であることが示唆された。

謝辞

本調査にあたり、御協力を頂いた関係医療機関の方々に深謝いたします。

文献

- 1) Schmidt NJ: Cell Culture Procedures for Diagnostic Virology. In Diagnostic Procedure for Viral, Rickettsial And Chlamidial Infections, 6th eds. American Public Health Association INC, Washington, 51-218, 1989.
- 2) 国立感染症研究所感染症情報センター、病原微生物検出情報 (<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)

表 1 平成 23 年度初診時臨床診断別月別検査件数

疾患名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	7	1					1	4	12	24	13	4	66
感染性胃腸炎	4		6			2	2	2	9	7	5	2	39
無菌性髄膜炎		2	2		6	1	7	7	2	1	2	3	33
流行性角結膜炎		3		5	12	4	1	1	1	1	4		32
手足口病				8	8	3	2		1				22
咽頭結膜熱		2	6	8	1				1				18
ヘルパンギーナ		1	2	5	6	2							16
その他		3	3		3	1	6	7	3	1	3	3	33
合計	11	12	19	26	36	13	19	21	29	34	27	12	259

表 2 平成 23 年度初診時臨床診断月別ウイルス検出数

ウイルス名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒトアデノ 1						1				1			2
2			5	2				1					8
3		4		7	13	3		2	1				30
4		1											1
5			2	1				1					4
8				1	1		1				4		7
37					1								1
41									2				2
インフルエンザ AH3			1				1	2	7	12	4	1	28
B		4								3	8	3	18
ヒトメタニューモ			1							2	2		5
ライノ			1				1						2
RS									2				2
コクサッキー A6				3	3								6
A10			1	5	2								8
A16				1	1	1							3
B1								2					2
B5					2		1						3
エコー 6					3	1	3		1		1		9
9				1									1
25				1									1
ムンプス					1								1
単純ヘルペス 1			1	1								1	3
水痘帯状疱疹				1					1				2
ノロ GII							1		3	3	1		8
サボ									2				2
ロタ A群		3								2	2	2	9
合計		7	10	9	22	27	7	9	9	16	23	22	168

表3 平成23年度初診時臨床診断別ウイルス検出数

ウイルス名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	流行性角結膜炎	手足口病	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	その他	合計	
ヒトアデノ				1			1		2	
2			1			5		2	8	
3	1			20		7	1	1	30	
4				1					1	
5		1				2		1	4	
8				7					7	
37				1					1	
41		2							2	
インフルエンザ	AH3	28							28	
B	18								18	
ヒトメタニューモ		3						2	5	
ライノ								2	2	
RS	1							1	2	
コクサッキー	A6				5		1		6	
A10					1		7		8	
A16					3				3	
B1								2	2	
B5			1		1		1		3	
エコー	6		6					3	9	
9						1			1	
25						1			1	
ムンプス			1						1	
単純ヘルペス	1						1	2	3	
水痘帯状疱疹								2	2	
ノロ	GII	8							8	
サボ		2							2	
ロタ	A群	9							9	
合計		51	22	9	30	10	16	12	18	168